



A0

17





曾我怖佳素  
 柝可相觸富士好得業  
 遠國法家人者三及力空也  
 近世仍等柱本五五車心  
 難道を科来月十二日  
 始下地内横海造佳此有  
 可被中筋筋能作也此有  
 之州少津

曾我怖佳素ハ河津台所村  
 子ナリ物ハ二歳経久浪家  
 伝乃お傳よとく伊豆  
 曾我怖佳素ハ河津台所村  
 八歳大思小友ハ懐  
 中付河津台一矢射  
 曾我怖佳素ハ河津台所村  
 五歳時子ナリ



世よりかきまはし申す  
 徳曲よはくうこふて凡  
 十六番あり  
 元服系我 小神系我  
 兼討系我 彌作系我  
 福助系我 多程系我  
 竹本系我 花介系我  
 堀切系我 堀切系我  
 又割系我 権子系我  
 兼美系我 留徳系我  
 十番切 切系我  
 以上れり申すこと廿一

くらふれ人まゝとて  
 よりけて切まはし  
 とおのゆるこふりともな  
 元服系我  
 兼美系我  
 福助系我  
 大さ力おのり  
 以上れり申すこと廿一



源頼朝  
 建久四年四月十日  
 今下河原江守申す  
 頼朝割物と名馬毛毡  
 不有割物と名馬毛毡  
 以上れり申すこと廿一



も理よふ一若きとて  
 志くけししむるはた  
 師の坊乃いそしむる  
 りよりおのさたど  
 んりおのさたど  
 せははは成よりこひ  
 こるしていとわづら  
 の箱をとりたるはけ  
 ともくは田れは  
 りははははははは  
 せははははははは  
 りんりりりりりり

影と上者可致法付  
 月二日陽傳  
 題之役出立作割  
 卯八月十日  
 傳使  
 法務場  
 山下  
 越後

氏一除救難  
 任込  
 番留  
 之入  
 武  
 女  
 水  
 者



藤島河方と東三郎は河東  
 系完人といふ九段番信長  
 高家とて時々の河内  
 言部人といふ番の母大石  
 源内といふ大石の母大石  
 利根吉書といふ見世の母  
 大石吉書といふ見世の母  
 系内といふ見世の母

中より入国する相主  
 の髪とて年々短くさへ  
 りり入別ありさへ  
 多く過るさへいづく  
 そうげんといふさへ  
 とおげんといふさへ  
 江戸をさへこれいふ  
 ねいすといふさへ  
 ともいふさへ  
 んだのちいさな  
 身といふさへ  
 といふさへ







此の世もふけりて中世  
 時宗とてあつていふ  
 かなげにれ門出のいふ  
 時宗はいつ一月の物  
 通ふんとれして成  
 阿波のいふとて  
 なる孝のいふとて  
 武士のいふとて  
 ねとそつていふとて  
 るはあまのいふとて



海使者二級兵隊師房者  
 海人等不知行方作回平友  
 石等二級兵隊師房者  
 二級兵隊師房者  
 六月廿日  
 進二 振原平二殿  
 柳と度法は行方作回平友  
 平二と度法は行方作回平友

名理世世第と先世國去春  
 平徳和也但為我十弟且高  
 引記路動奉也陸羽者代  
 振藩一調松子備方言勝云  
 有徑進二級兵隊師房者  
 四月廿八日  
 平徳時  
 安達少弼殿





